

アクトス10~15店出店

17年3月期、過去最大の規模



アクトスが出店を加速している低価格帯のスポーツクラブ「アクトスウィーグ」

バローホールディングスの子会社で会員制スポーツクラブを展開するアクトス(多治見市希望ヶ丘、横山悟社長)は、2017年3月期に過去最大規模となる10~15店舗を出店する。フィットネス業界では若者離れが進む中、20~30代をターゲットにした低価格帯の店舗を中心に出店を計画。主要顧客の中高年層に加え、若年層の開拓を積極化し、収益基盤を固める。(高橋友基)

低価格帯 店舗中心 若者をターゲット

フィットネス市場 加傾向にある一方、若者は、健康志向の高まり、若者は伸び悩んでいると、中高年層の会員が増えるという。こうした中、同社は、将来を見据えて若年層の需要を喚起しようとし、月会費2700円(税抜き)と低価格の「スポーツクラブアクトスウィーグ」を展開。気軽に運動を楽しんでもらうことをコンセプトとし、プールやシャワー、ロッカーをなくして費用を抑えつつ、ランニングマシンなどのトレーニング設備は充実している。入会手続き時間を短縮する「セルフ入会受付端末」も導入している。

13年に三重県鈴鹿市にウィルジの実験店舗を出店したところ、若者を中心に順調に顧客を獲得して手応えをつかみ、出店攻勢を続けている。17年3月期の出店は、4月1日に東京都西多摩郡瑞穂町に、5月1日に東京都八王子市にそれぞれウィルジの新店舗をオープン。これにより同社の店舗数は67店舗となる。

ウィルジのフランチャイズ(FC)加盟者も募集しており、30日に神戸市の大久保インターン店で加盟者向け説明会を実施する。

通常店舗を含めた全体的に出店は、関東や関西圏を中心に計画がある。18年3月期はさらに出店を加速し、100店舗体制を目指す。